

ワイン用ぶどう生産者技術セミナーを開催しました

12月16日に上田合同庁舎講堂でワイン用ぶどう生産者技術セミナーを開催しました。

このセミナーは、毎年この時期に、生産者の皆さんの栽培技術の向上等を図ることを目的に開催しており、当日はワイン用ぶどう生産者やワイナリー、行政関係者など40名ほどの参加がありました。

始めに、支援センターから「本年のワイン用ぶどう栽培における課題と対策」について、主に凍害対策としてワラ巻きの効果などを報告。続いて専門技術員から「ワイン用ぶどう園における土づくり」について、管内の4つのワイナリーの土壌理化学性の結果をもとに解説があり、農業試験場からは栽培情報ネットワークの変更点について説明がありました。

最後に（株）キスヴィンサイエンス CEOの西岡一洋氏より「樹液流動の特性から見たぶどう樹の樹勢管理」と題して、大学での試験結果や海外などの事例を踏まえる中で、樹液流動の重要性や品種による気孔の開閉特性などの講演があり、参加した皆さんは熱心に聴講していました。

今後も、生産者の栽培技術等の向上を図りながら、上小地域のワイン用ぶどうの生産振興につなげていきたいと思えます。

